

パパ活で俺に惚れたのは元アイドル人妻アナウンサーの愛娘だった話

【Chapter4】

@阿弥音

『えへへっ、まさか本当に妊娠しちゃうなんて思わなかった ♪』

@阿弥音

『でもすぐにママも妊娠しちゃったのが一番驚いたけど ♪』

@涼子

『だって阿弥音が妊娠したときの幸せそうな顔を見たらなんだか寂しくて……私も赤ちゃん欲しくなっちゃったんだもの』

@阿弥音

『もうっ、ママったらかーわいい ♪ 安定期まで我慢したし、たっぷりセックスできるね、パパよろしくね ♪』

@涼子

『ずっとあなたのおちんちんを待ってました……よろしくおねがいします』

@涼子

『あっ……私からでいいんですか？ うれしい ♪』

@涼子

『ああ……おちんちんきたあ……涼子の妊婦おまんこにおちんちん入ってきてますう……』

@涼子

『あっ、あっ、ふああっ、ああんっ！ おちんちん、深い、奥まで届いてるっ！』

@涼子

『ああっ……セックス久しぶり……たまらない……感じちゃうっ、感じ過ぎちゃうっ、ああああっ……！』

@涼子

『あああっ、あっ、あっ……ふああああ……！ 私もう……もうイっちゃう……イクっ、私イクッ……』

@涼子

『イクっ……イクから！ 一緒にイって……！ 中に出してえ、中出しでイクからあ！』

@涼子

『イクっ……イク、イク、あっ、あっ、イ、イクうううううううううっ！！』

@涼子

『あっ、あっ……あああああああっ……出てる、出てるうっ、精液がいっぱい出てる……』

@涼子

『涼子の妊婦おまんこにたっぷり精液……ありがとうございます…… ♪』

@阿弥音

『もーパパったら、ママばかり可愛がって～、阿弥音の妊婦おまんこも疼いて仕方ないよ、なんとかしてよ ♪』

@阿弥音

『あっ、もういきなり…… ♪ ああっ、ああっ……ふあ……おちんちんずぶずぶ入ってくるう……』

@阿弥音

『あ、ああっ……パパのおちんちんステキ……阿弥音幸せ……あああっ……んっ、んう……』

@阿弥音

『あっ、あっ！ ああ、すごい……！ おちんちんすごiiiiii！ あああんっ、お願い、もっと、もっと乱暴にしてえ！』

@阿弥音

『すごいっ……♪　すごいすごいっ♪　赤ちゃんごと奥までガンガン突きあげるのすごいっ♪　きもちいい……っ！』

@阿弥音

『来てっ、パパ来てえっ、あやねと、赤ちゃんにビュービュー出して、精液でいっぱいにしてえ！』

@阿弥音

『イクっ、イクっ……ふああんっ！　イクううううううううううううううううっ！！』

@阿弥音

『ふああ、ふあああああつ……奥にきたああ……パパの精液、どぴゅどぴゅ奥にきてるう』

@阿弥音

『はあ、はあっ……はああつ……あああ……んう……ふふ、あやねたちのパパって最高でちゅね～♪』

@涼子

『阿弥音……可愛い赤ちゃん産みましょうね、彼との愛の結晶よ、ふふっ』

@阿弥音

『うん、ママ♪　ずっと一緒に、赤ちゃんも一緒に、みんなでパパに愛してもらおうね、うふふっ♪』

【Chapter4】終了

【Chapter5】

@阿弥音

《パパが学校まで送ってくれるって言うから、車だと思ったのに》

@阿弥音

《一緒に電車で行く、とか……ちょっと嬉しかったけど》

@阿弥音

《というか、さっきからずっとあたしのお尻撫でてるし……》

◆周りに気づかれぬよう声を抑えている

@阿弥音

『ふっ……んっ……パパ、ダメだよ、周りの人に気づかれちゃう』

@阿弥音

『お尻丸くて可愛い……って、嬉しいけど、今言わないでよ、もう……』

@阿弥音

『ふっ……んっ……んふう、ふあ……そんな優しく撫でられたら……』

@阿弥音

『あっ、んっ……んあっ、はあ、はあっ……んんっ……！』

@阿弥音

『あっ……スカート持ち上げたらパンツ見えちゃう……』

@阿弥音

『ふう、んっ……あっ、お尻の割れ目なぞらないで……』

@阿弥音

『ひゃっ！？　お尻の穴ツンツンしないで……変な声出ちゃったじゃない……』

@阿弥音

《ちょっと濡れてきてる……こんな状況で感じちゃうなんて、あたし変態かも》

@阿弥音

《おまんこいじつてくれないかな、すぐにイっちゃいそう、さすがにダメだよね》

@阿弥音

『ねえパパ、もう少しで着くから……んひゃっ！？』

@阿弥音

『あっ……あっ、んっ、んう……ちくびこすらないでえ……』

@阿弥音

《すごい、ちくび敏感になってる、ちくびがおまんこみたい、びんびんきてる》

@阿弥音

『ふああっ……あっ、あっ……んあああああっ……ちくびきもちいい……』

@阿弥音

『あっ……ダメえ、ブラずらしちゃ……ちくびがすごく敏感になってるから、ふああっ』

@阿弥音

『あっ、あっ……ちくびくりくりしないでえ……つままないでえ……気持ちよすぎる、腰抜けちゃう……』

@阿弥音

《ああ……！ これやばいっ……！ 敏感になった乳首で感じまくって、頭が真っ白になってくる》

@阿弥音

『あっ……んっ……あっ……、あうっん、ああう……んっ……んう……』

@阿弥音

『ふあああ……んっ……んふう……ダメっ……ちくびっ……阿弥音、ちくびだけでイっちゃう……』

@阿弥音

『電車の中で……たくさん人がいるのに……ちくびでイっちゃうよお……』

@阿弥音

『もうダメ、もうダメ……！ 声出ちゃう、イっちゃううう……イクうう……！』

◆電車到着

@阿弥音

『えっ……あっ……う、うん、降りなきゃ』

◆普通にしゃべる

@阿弥音

『……ねえパパ？ 阿弥音の言いたいことわかるよね？』

@阿弥音

『ほら、見て。パンツがびちょ濡れたよ、お漏らししたみたい。こんなんじゃ学校行けないよね』

@阿弥音

『じゃ、いつものホテルいこっか♪ たっぷりさっきの仕返ししてあげるからね♪』

【Chapter5.】終了

【Chapter6】

@涼子

《収録前、テレビ局の廊下で彼に呼び止められて、役員用トイレに連れ込まれた》

@涼子

《ここなら広いし、防音もしっかりしてるから安心だけど、職場でこんなこと……》

@涼子

《でも昨夜も私をムチャクチャに犯した逞しいおちんちん見たら……股間の疼きが止められなくて》

@涼子

《トイレの床にひざまずいて、フェラチオを始めることに何も抵抗が無かった》

@涼子

『ちゅっ、ちゅっ……ちゅぽっ、ちゅぽ……れろっ、ちゅろ……れろれろっ……』

@涼子

『ちゅ、ちゅふうっ……ちゅるっ、ちゅるるるっ……はぁ、はぁ……』

@涼子

『おちんちん、すごくパンパンで……少し酸っぱくて男の濃い味で美味しいです……』

@涼子

『ちゅっ、ちゅぷっ、ちゅぽっ……はぁ、はぁ……ちゅっ、ちゅぷっ』

@涼子

『はい、今から収録です……れろっ、ちゅるっ、ちゅちゅっ、ちゅうう』

@涼子

『だから衣装には……全部飲みますから、私のお口に全部出してください』

@涼子

『はい、足を開いてパンツを見せます、んんっ……』

@涼子

『え、オナニーしながら……？ でもこれから収録で……ダ、ダメです、衣装は汚さないでください』

@涼子

『わかりましたパンツの上からクリを擦ってオナニーしながらフェラチオします……あっ、んっ、んうう』

@涼子

『ちゅくちゅくッ、ちゅぷっ……ちゅぽっ……れろれろっ……んれろっ……』

@涼子

『あっ、んっ……パンツの上から触っただけでも……すごく気持ちいいっ……もうこんなにぐちゅぐちゅしてる』

@涼子

『ふぁあん、パンツの上からクリなぞるの感じます……れろっ、れろろっ……ちゅぽっ……』

@涼子

『はぁはぁ、はぁっ……ちゅぷっ、くぽっ、ちゅぽっ、ちゅばっ……れろおっ……』

@涼子

『くふう、じゅぷっ、くぷっ……じゅるっ、じゅちゅっ……れりゅっ……』

@涼子

『ああ……お腹の奥が熱くなってる……パンツがぐっちょり濡れてます……収録に行けなくなっちゃう……』

『あっ、ああ、クリトリスびりびりしちゃうっ……指が止まらないですっ……』

『ちゅ、ちゅ……はぁ、はぁ……ちゅっ……んっ……ちゅぷっ……ちゅぽっ……れろれろっ……れろっ……』

『ああっ……イクっ、もうイッちゃう……涼子もうダメです、イっちゃいます……』

『パンツ見られてクリオナニーで気持ちよくなって……口におちんちん啜えたままイッちゃいます……！』

『あなたもイってください、お口に精液出して、んちゅっ、んちゅぶっ、んちゅううううっ……』

『ふーっ、ふっ、ふちゅっ、ちゅぶっ……んっ、んっ、んううううっ！』

[illegible]

『はあ一つ……はあ、はあ……っ、はあ一つ……けほっ……けほっ……精液飲んでイッちやいました……』

『私は大事な仕事場のトイレで……パンツをぐちょぐちょに濡らしてクリイキした変態ですぅ……』

『はい、ここはトイレで私は便器です……だから今度は私のおまんこにいっぱい精液注いでください……』

『収録までまだ時間ありますから……変態便器アナウンサーの涼子をたっぷり犯してください……うふふっ♪』

;【Chapter6】終了